

事務事業名	雲南中央地区中山間地域農業農村総合整備事業負担金	所属部	建設部	所属課	農地整備課	
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉	所属G	農地整備G	課長名	保科 浩二
	施策名	〈34〉農業の振興	担当者名	南波 真二	電話番号	0854-40-1068 (内線) 2401
	目的対象	市内の農家 意図 安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	予算科目	会計 0:1300:2 款 0:2 大事業名 中山間地域総合整備事業 中事業名 雲南中央地区中山間地域農業農村総合整備事業負担金		
	目的対象	基本事業名 〈097〉農業基盤の整備・保全 担い手農家をはじめとする農家 意図 働きやすい環境で、農業の生産性が維持・向上する。				

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
事業区域内の受益者	営農の効率化、水利の安定確保及び流通の効率化等が図られるほか維持管理の労力軽減や地域の安全が確保できる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H27 年度 ~ R7 年度)	■ 事業概要 事業区域: 大東町、加茂町、木次町、三刀屋町地内 全体52工区 事業期間: R2~R7年度 対象工種: 用排水路、区画整理、農道、鳥獣侵入防止柵、防火水槽 ■ 市負担率: 用排水・区画・防止柵…10%、農道…15%、防火水槽…20%
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ■ 県及び関係機関、受益者との協議調整 ■ 負担金の支出	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 特になし。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 事業実施済地区数	地区	0	1	1	3
イ 事業進捗率	%	0.0	2.0	2.0	3.8
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
・事業費190,000千円 ほ場整備、用排水路 182,000千円 農道 8,000千円 ・市負担金(充当起債:過疎債) 182,000千円×10%= 18,200千円 8,000千円×15%= 1,200千円 計 19,400千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円	14,400	22,700	19,400	33,200
	その他	千円				400
	一般財源	千円	20	50		50
	事業費計	千円	14,420	22,750	19,400	33,650

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	整備の完了した工区は水利の安定確保及び維持管理の労力軽減が図られた。
② 事業実施するうえでの課題	令和3年災害の発生により事業進捗が遅延している。 中山間地域の条件不利地での総合的な農地基盤整備事業であり、受益者負担(5%)も少ないので、継続的な実施が望まれる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・中山間地域の条件不利地での農地基盤整備ができる事業であり、受益者負担(5%)も少なく農業者のニーズが高く、多くの事業要望が出されている。 ・中山間地域総合整備事業は連続して3期目となる。地元意向に合わせるためにも、継続的に事業を実施していく必要があるが、国交付金の減額、県内交付金対象事業箇所数の増加もあり、中山間事業への予算配分は年々少なくなっている。また、近年の農政変化により、事業採択へのハードルも年々上がりつつあり、事業要望箇所のさらなる精査、見直しが必要である。